



地域の挑戦と安心を支える！フェーズフリーな拠点づくりの担い手になりませんか？【拠点立ち上げ・運営・中間支援人材募集】

鋸南町では、農水産物などの観光資源を生かし、農水産物等の加工、商品開発機能と防災機能を備えた「フェーズフリー拠点」の整備を目指しています。

地域のさまざまな関係者と連携し、拠点の構想づくりから整備に向けた調整、立ち上げ運営の仕組みづくりまでを担う地域おこし協力隊を募集します。

東京から 80 分！豊かな自然と日本の伝統文化を兼ね備える秘境「鋸南町（きょなんまち）」

房総半島の西南に位置する鋸南町（きょなんまち）は、北は富津市、東は鴨川市、南は南房総市に接し、西側は東京湾に面しています。都心から車で約 80 分というアクセスの良さがありながら、海、山、花、歴史、集落の暮らしが身近に残る、都心に近い秘境のような町です。町の北部には、標高 329 メートルの鋸山（のこぎりやま）があります。山頂付近が鋸の歯のように連なる特徴的な山容を持ち、その鋸山の南に位置することから「鋸南町」と名付けられました。

>> 鋸南町 HP [<https://www.town.kyonan.chiba.jp/>]

>> 鋸南町のみどころはこちら [https://maruchiba.jp/feature/detail_507.html]

フェーズフリー拠点とは？目指していること

鋸南町には、農産物や水産物、花、歴史、里山、海辺の暮らしなど、商品や体験の素材になり得る地域資源があります。また、地域の中には、それらを活かして「新しい商品をつくってみたい」「観光客に体験として届けたい」「地域の人が集まる企画をやってみたい」という思いを持つ人たちがいます。

一方で、そうしたアイデアを実際に形にするには、試作や加工ができる場所、販売に向けた準備、衛生面や許認可への対応、相談できる相手、地域内外との接点が必要になります。個人や小規模な事業者だけでは、その環境を一から整えることが難しい場合もあります。

そこで鋸南町では、地域の人たちが持つ「やってみたい」を試し、育て、形にしていくための拠点づくりを目指しています。単なる加工場ではなく、商品開発、体験づくり、交流、販売、情報発信、観光客との接点づくりまでを支える複合的な場所を作っていきたいと考えています。

そして、地震や台風、土砂災害など、万が一のときには、町民が安心して避難し、一定期間を過ごせる場所としても機能することを目指します。日常の挑戦やにぎわいを支える場所が、非常時には地域の安心を支える場所にもなる。こうした考え方を、ここでは「フェーズフリー拠点」と呼んでいます。



鋸南町には、全国からも非常に注目を集めている、廃校をリノベーションしそのまま小学校をコンセプトにした「道の駅保田小学校」がありますが、第二の廃校利活用事例として、旧佐久間小学校跡地を拠点の候補地として考えています。



旧佐久間小学校跡地のあるエリアは佐久間エリアと呼ばれ、地域おこし協力隊のメインの職場となる鋸南町役場から車で約7分程度の場所になります。

近くには、町営の「笑楽の湯」という温浴施設もあります。

どんな人を求めているか？

<こんな人お待ちしてます>

- ・地域の人の「つくりたい」「やってみたい」という思いを形にすることに関心がある人
- ・商品開発、体験づくり、場づくり、情報発信などにチャレンジしたい人
- ・地域住民や事業者の話を丁寧に聞き、関係を築きながら動ける人
- ・完成された仕事をこなすだけでなく、地域の中で必要な役割を見つけていきたい人
- ・活動終了後も、鋸南町での就業・起業・定住に関心がある人

拠点づくりや地域おこしの経験がなくても大丈夫です。地域の方々と関わりながら、町にある素材やアイデアを掘り起こし、日常にも非常時にも役立つ拠点を一緒につくっていきましょう。

<詳しい業務内容>

- ・地域の人たちが持つ商品・体験づくりのアイデアの聞き取り
- ・拠点に必要な設備、機能、使い方の整理
- ・地域の食材を使った商品の試作、加工、販売準備のサポート
- ・交流イベント、ワークショップ、体験プログラム等の企画・実施
- ・拠点の利用ルール、運営体制、相談・支援の仕組みづくり
- ・農産物、水産物、花、海、里山、歴史文化、地域行事などの地域資源の掘り起こし
- ・SNS、記事、写真、動画、活動報告等による情報発信
- ・地域住民、事業者、農家、漁業関係者などとの関係づくり

この拠点は、普段は商品づくりや交流・体験の場として活用し、台風や災害などの非常時には、食事・情報・物資・休息などを支え合える場所としても機能することを目指しています。こうした「日常にも非常時にも役立つ場所」をつくるのが、今回の主な仕事です。



▼1年目～2年目

これまで鋸南町が構想してきた拠点の考え方を、地域プレイヤーも巻き込みながら具体的な計画に落とし込み、実際の改修・立ち上げ準備へ進めていきます。地域住民や事業者の声を聞きながら、必要な機能、使い方、運営体制、利用ルール、支援の仕組みを整理し、拠点を利用する人たちの巻き込みも進めます。あわせて、商品づくり、体験企画、交流イベントなど、拠点で生まれる活動をサポートしながら、段階的な運用開始を目指します。

▼3年目

これまでの活動をもとに、拠点が地域の中で使われ続ける状態を目指します。地域の人たちが自走できる仕組みづくりを進めながら、任期終了後の就業、起業、地域での継続的な関わり方についても具体的に準備していきます。

〈卒業後のキャリア〉

3年間の活動で培った地域住民・事業者とのネットワーク、商品開発や体験づくりの経験、場づくり・情報発信・運営支援のスキルを活かし、任期終了後は鋸南町での就業、起業、地域事業者との連携、拠点運営への継続的な関わりなど、多様な進路を目指すことができます。

地域にある素材や人の思いを形にしながら、自分自身の仕事や役割も育てていく。そんな3年を過ごしたい方をお待ちしています。

募集の詳細

雇用関係の有無	なし
業務概要	鋸南町（きょなんまち）で地域の一員として暮らしながら、地域の人たちが持つ「新しい商品をつくりたい」「地域の素材を使って体験をつくりたい」「自分たちのアイデアを形にしたい」という思いを実現するための拠点づくりに取り組んでいただきます。 この拠点は、単なる加工場やイベント会場ではありません。普段は、地域の人たちが集まり、商品を試作したり、試験販売したり、ワークショップや交流イベントを開いたりできる場所として活用します。 一方で、台風や災害などの非常時には、地域の人が集まり、食事・情報・物資・休息などを支え合える場所としても機能することを目指します。 このように、日常の地域づくりにも、非常時の支え合いにも役立つ拠点をつくるのが、今回の地域おこし協力隊の主な仕事です。 こうした考え方を「フェーズフリー」と呼びます。日常と非常時を分けて考えるのではなく、普段から使われている場所や仕組みが、いざという時にも自然に役立つ状態を目指すものです。 主な業務は、以下の3つです。 ① 拠点づくりの計画を具体化する

	地域の人たちが持つ「やってみたい」「つくってみたい」というアイデアを聞き取り、それを実現するにはどのような設備、機能、使い方が必要かを整理します。 たとえば、地域の食材を使った商品の試作、加工、販売準備、飲食提供、交流イベント、体験プログラム、防災時の活用など、拠点に必要な役割を地域の人たちと一緒に考え、具体的な計画に落とし込んでいきます。 ② 拠点を継続的に使える仕組みをつくる 拠点は、つくって終わりではありません。地域の人たちが実際に使い続けられるように、利用ルール、運営体制、相談・支援の仕組み、収益化の可能性などを検討していきます。 商品や体験を一度つくるだけでなく、試して、改善して、販売や発信につなげる流れをつくることも重要です。利用する人が少しずつ自走できるように支援し、地域の中で新しい挑戦が生まれ続ける状態を目指します。 ③ 地域資源を掘り起こし、町内外に伝える 鋸南町には、農産物、水産物、花、海、里山、歴史文化、地域行事など、商品や体験の素材となる地域資源が多くあります。 地域の人たちと関わりながら、それらの資源を掘り起こし、新しい商品、体験、イベント、交流のきっかけとして活用できる可能性を探っていただきます。 また、活動の過程や地域の魅力を、SNS、記事、写真、動画、活動報告などを通じて発信していただきます。単なる観光PRではなく、鋸南町で挑戦する人、関わる人、応援する人を増やしていくための発信を期待します。
募集対象	必須要件 1. 3大都市圏の都市地域又は政令指定都市に生活の拠点があり、任用の日以降、鋸南町に生活の拠点を移し、住民票を異動できる方 ※3大都市圏とは、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、岐阜県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県及び奈良県の区域の全

	部を指します。 ※条件によってはこの限りではないため、ご不明な点は個別にお問い合わせください。 - 活動期間終了後、鋸南町で就業又は起業し、定住する意欲のある方 - 普通自動車運転免許を有する方、または着任までに取得見込みの方 - パソコン、SNS、オンライン会議等の基本操作ができる方 - 地域住民や事業者と丁寧にコミュニケーションを取り、信頼関係を築ける方 - 地方公務員法第16条に規定する欠格条項に該当しない方 - 心身ともに健康で職務に遂行できる方 歓迎要件 - 調理師免許、管理栄養士等の資格を有する方 - 商品開発、食品加工、飲食、販売、イベント企画、情報発信等に関心または経験がある方 - 地域資源を活用した商品・体験づくりに関心がある方 - 場づくり、拠点運営、コミュニティづくりに関心がある方 求める人物像 - 鋸南町で暮らしながら、地域の人たちの思いやアイデアを形にする拠点づくりに関心がある方 - 地域住民、事業者、農家、漁業関係者など、さまざまな立場の人の話を丁寧に聞ける方 - 自ら考え、行動し、関係者を巻き込みながら物事を進められる方 - 明るく、人との関わりを楽しめる方 - 完成された仕事をこなすだけでなく、地域の中で必要な役割を見つけ、少しずつ形にしていける方 - 任期終了後も、鋸南町との関わりを継続する意欲がある方
募集人数	最大3名
勤務地	鋸南町役場 地域振興課

勤務時間	業務量の目安：１日７時間４５分　１月２０日間
雇用形態	鋸南町地域おこし協力隊設置要綱に基づき、町長が委嘱します。 （鋸南町との雇用関係はありません。） 最長３年間
給与・賃金等	報償費 291,000 円/月 活動費 ※活動内容に応じ、町が認める範囲で支出可能とします。 活動経費として想定されるものは以下です。 ● 住居家賃の一部 ● 活動用車両の借上げ、燃料費、車両維持費 ● 活動に必要な旅費・交通費 ● 活動に必要な備品・消耗品 ● イベント、ワークショップ、体験企画等の実施経費 ● 地域住民・事業者との意見交換等に要する経費 ● 研修受講費 ● 情報発信、資料作成、撮影、デザイン等に要する経費 ● その他、町が活動に必要と認める経費
申込受付期間	令和８年１１月２７日（金）まで 質問がある場合は、「鋸南町地域おこし協力隊の応募に係る質問書（様式２）」に記入の上、メールまたはＦＡＸでお送りください。 ※募集状況により、期間を延長する場合があります。 ※正式応募前の個別相談も受け付けます。
審査方法	応募・選考の流れ （１）応募＜令和８年１１月２７日（金）まで＞ 郵送またはメールのどちらかでご提出ください。 ①地域おこし協力隊応募用紙（様式１） ②住民票抄本（提出日より１か月以内のもの）

	③運転免許証の写し（両面） （２）一次選考：書類選考 + オンライン面談＜令和８年１１月２７日（金）まで＞ 提出いただいたエントリーシート内容に加えて、30 分程度のオンライン面談の内容を踏まえて選考いたします。 なお、一次選考は募集締切前から応募された方から順次御案内いたします。 （３）最終選考：面接（鋸南町）＜令和８年１２月中旬頃＞ （４）選考結果通知：令和８年１２月中旬以降予定 （５）任務開始時期：令和９年１月以降
お問い合わせ先	鋸南町地域振興課まちづくり推進室 〒299-2192 千葉県安房郡鋸南町下佐久間 3 4 5 8 TEL：0470-55-1560 FAX：0470-55-0421